
07 よくある質問集 Vol.4

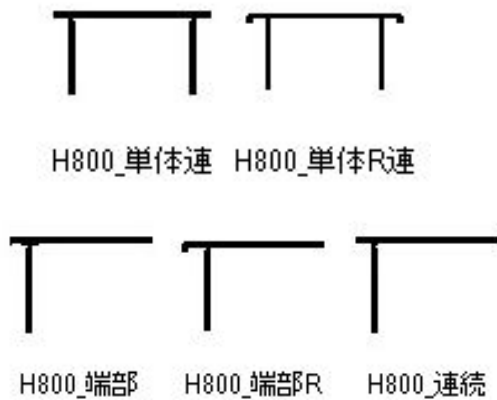


1. 手摺の種類・配置方法 ----- P1
2. 交差した手摺を綺麗に仕上げる方法 ----- P5
3. 塀の部分貼り ----- P7
4. 塀のを断面図を作成する方法 ----- P12

手摺の種類・配置方法

webマニュアル：スロープに手摺をつける方法もご覧ください

様々な手摺の作成方法をご説明します。



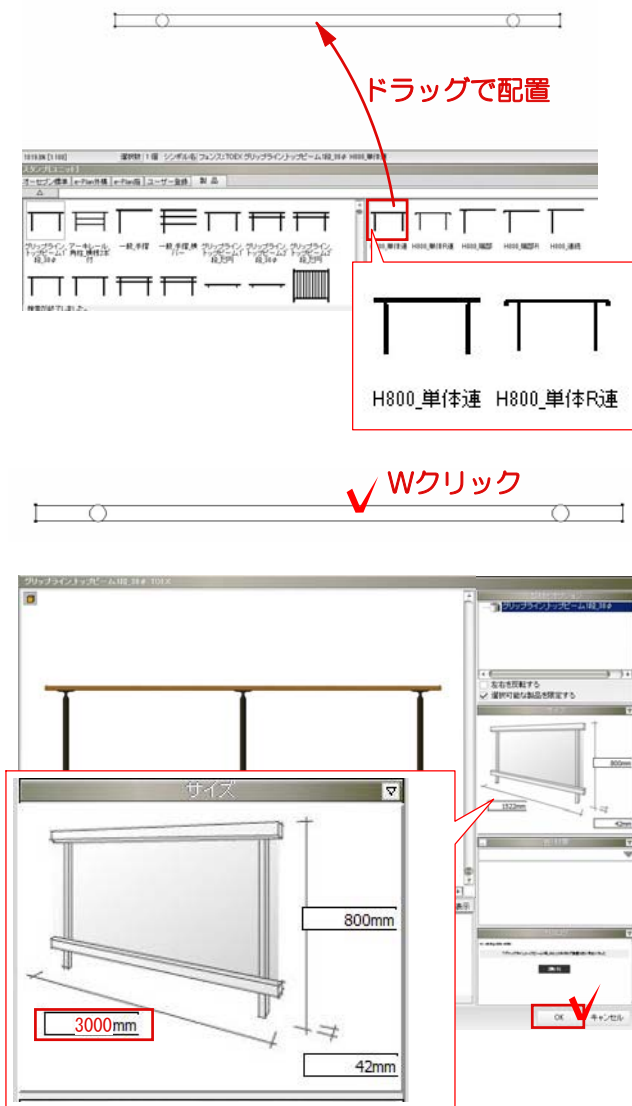
手摺を作成する方法

方法1：連続して手摺を作成する方法

単体の連続を使用して作成する方法です

方法2：塀の中で手摺を作成する方法

塀の中で端部の手摺を使用して作成する方法です。

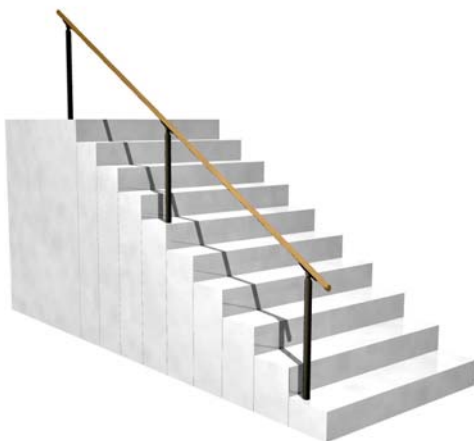


方法1：連続して手摺を作成する方法

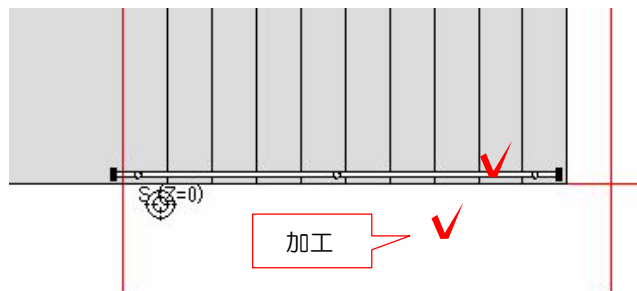
1：配置したい手摺の中の単体連の手摺を平面図上にドラッグで配置します。

2：手摺の上でWクリックします。

3：1500のスパンであれば、3000という形で入力するとスパンに合わせて柱が配置されます。
スパンが決定したら、OKボタンで画面を閉じます。

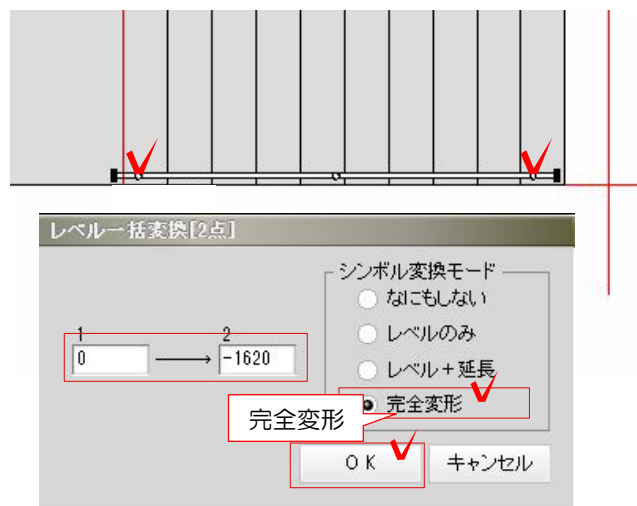
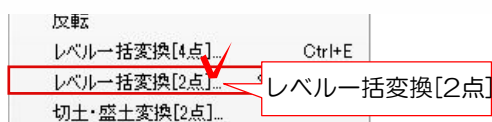



4：配置した手摺を階段にそって斜めに作成します。



5：階段の形状に合わせて手摺を配置します
配置した手摺をクリックで選択します。

6：加工からレベル一括変換を選択します。



7：手摺の柱の部分カーソル  で2点クリックで選択します。

8：1と2にクリックした部分のレベルを入力し、シンボル変換モードを完全変形にしOKを選択します。

※完全変形にチェックを入れた際に、このモードで変形した製品シンボルはeE-Formerで編集できるようになりますとメッセージが出てきますがOKを選択します。

レベル一括変換の詳細内容は

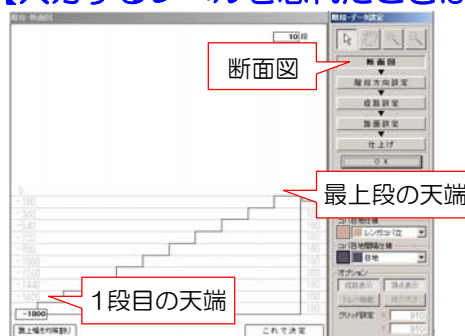


テキスト

P2-44参照



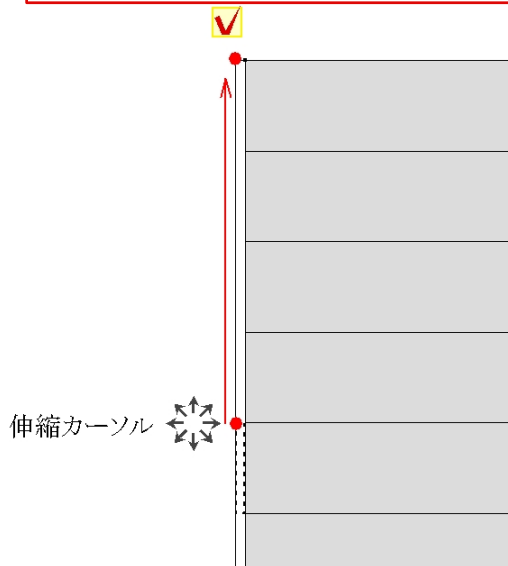
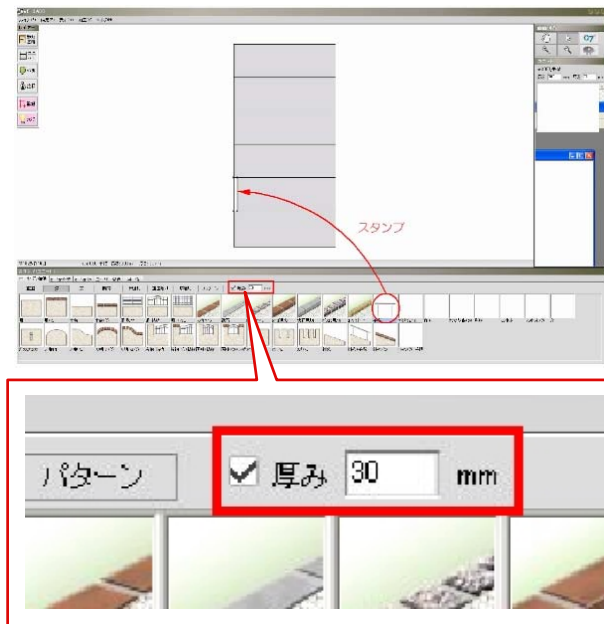
【入力するレベルを忘れたときは】




階段の断面図の部分で、1段目の天端と最上段の天端をあらかじめメモしておくで計算しなくてもすぐに入力する事ができます。

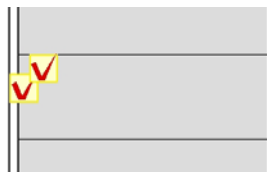
方法2：塀の中で手摺を作成する方法

1：厚みを入力しスタンプ[ユニット]から手摺を選択して配置します。

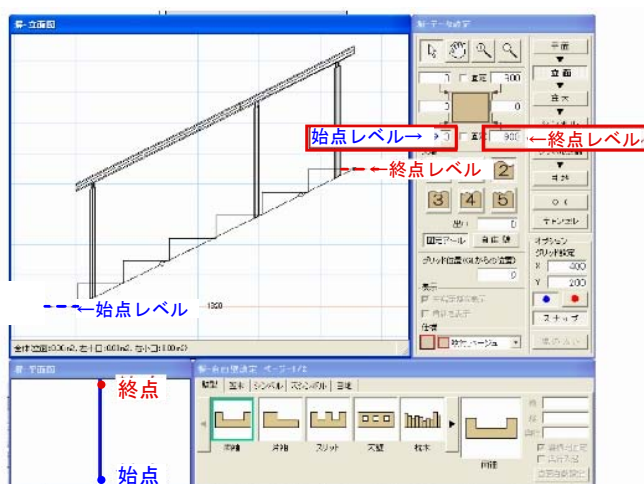


2：階段の1段1段にスナップしてしまうので、配置したい長さに伸ばします。塀の頂点（四隅）にマウスを合すと伸縮カーソル  ができます。ドラッグし伸ばしたい点でクリックすると伸ばす事ができます。

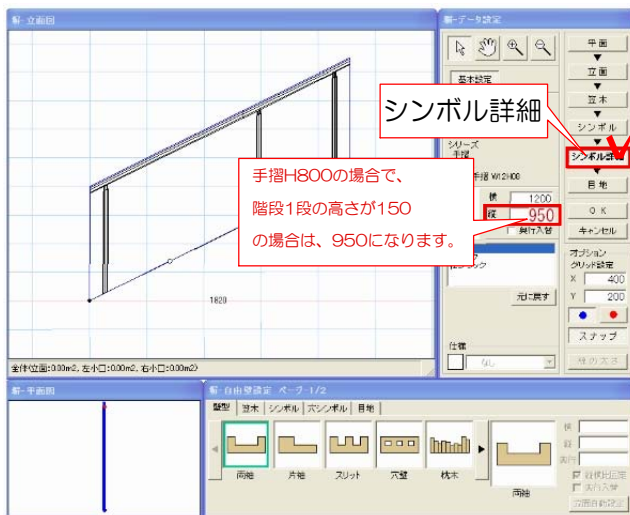
3：塀の上でWクリックします。



4：階段の1段目のレベルを始点レベルに階段の最上段を終点レベルに入力しEnterを選択します。



この時固定のチェックは必ずずしておきましょう。

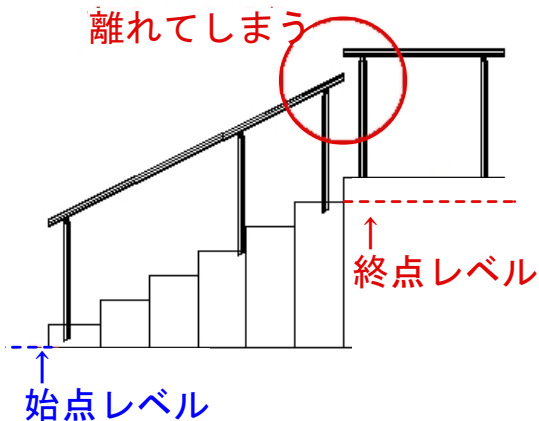


5：次にシンボル詳細を選択し、手摺の高さを階段の1段分プラスします。

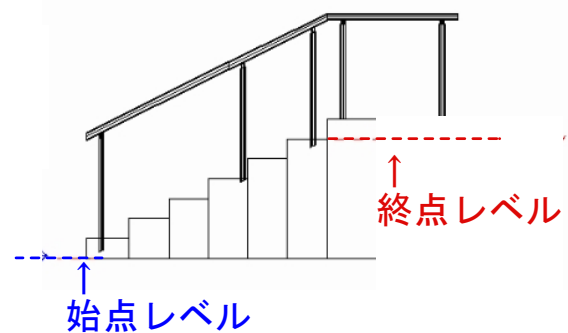
※詳細は下記参照



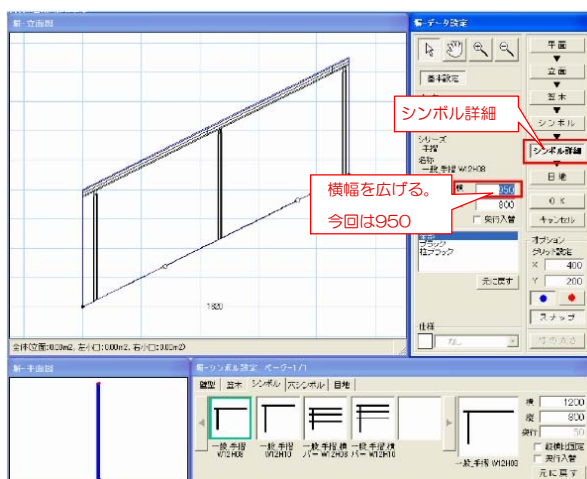
【高さが合わなくなります】



5の作業をしないと、手摺の天端がズレてしまいます。



一屏の中でピッチを変更する方法

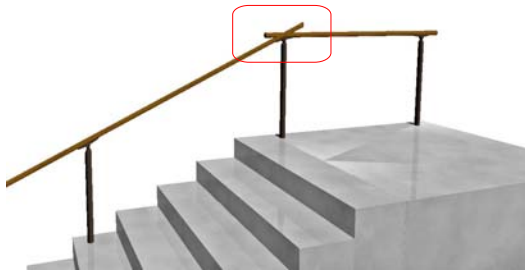


1：配置したシンボルをクリックして、シンボル詳細を選択します。

2：横のサイズを変更します。
サイズを変更すると、柱の本数が追加されて配置されます。

交差した手摺を綺麗に仕上げる方法

斜めの手摺と並行の手摺が交差し、飛び出した部分をきれいに仕上げる方法をご説明します。



飛び出した手摺を補助線で切断する方法です。



1：補助線Aを切断したい部分に合わせて配置します。

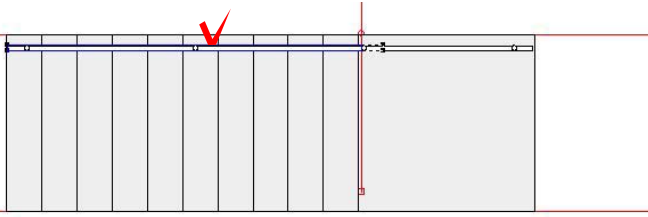
今回は手摺の柱の左側に補助線を配置してカットします。

※補助線は作成した手摺よりも長く引きましょう。

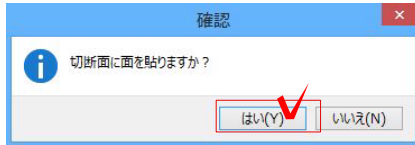
2：作成した斜めの手摺と補助線Aを選択します。

3：加工メニューの切断を選択します。

4：『実行すると図形がシンボルに変換されます。実行してもよろしいですか。』とメッセージが表示されるので『はい』を選択します。

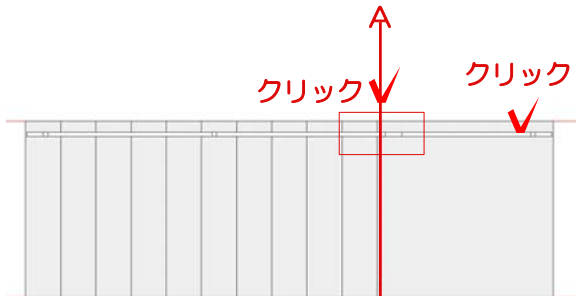


5：切断した時に残しておきたいレンガラインをクリックで選択します。



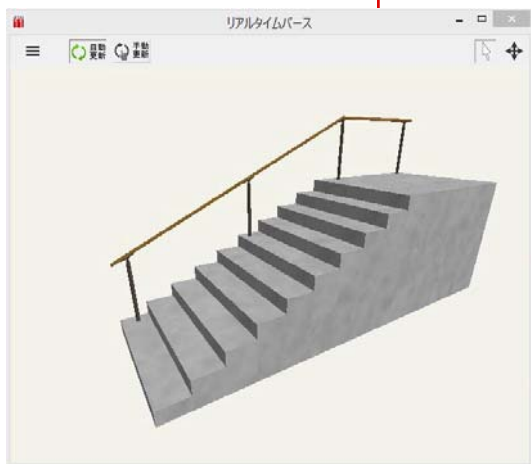
6：『切断面に面を貼りますか?』とメッセージが表示されるので、『はい』を選択します。

※切断面に面を貼る事によって、レンガの切断面に面を作成する事ができます。



7：右側の手摺と補助線Aを選択し、切断します。

操作方法3～6と同じ方法で作業します。



8：表示メニューのリアルタイムパースor eE-Painterで作成した手摺を確認してみましょう。

塀の部分貼り

※eE-CAD11の機能です。

塀の一部に石貼りをするなど、部分的に仕様を変える方法です。



1 部分貼りをする

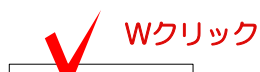
塀デザイナーで部分的に仕様を変更します。

2 小口に部分貼りをする

塀の小口を表示して部分貼をします。

3 部分貼を編集・削除する

部分貼りを移動・形状の修正・削除をします。

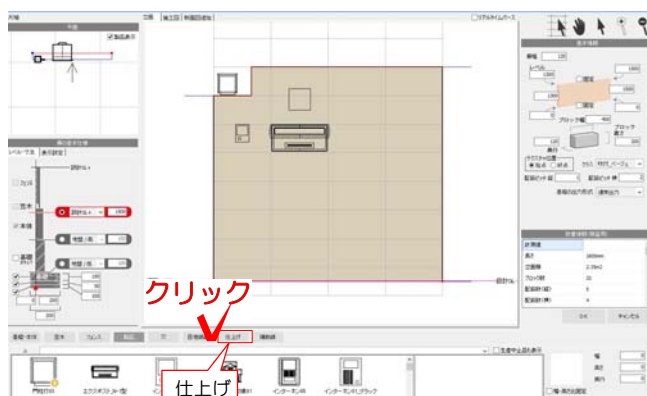


1 部分貼りをする

1-1 塀の図形をWクリックして塀デザイナーを起動します。

1-2 塀の高さの設定や、製品の配置をします。

1-3 画面下の「仕上げ」をクリックします。



1-4 仕様を選択します。

画面左下の塀材の□をクリックします。
ジュラストーン等から仕様を選び塀へドラッグします。

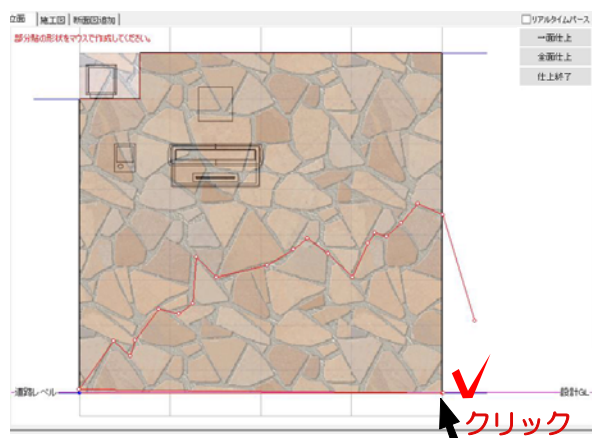





1-5 立面に仕様が表示されます。
石貼りなど、自由な形で描きたい場合は画面左の表示設定をクリックし「立面スナップ」のチェックを外します。

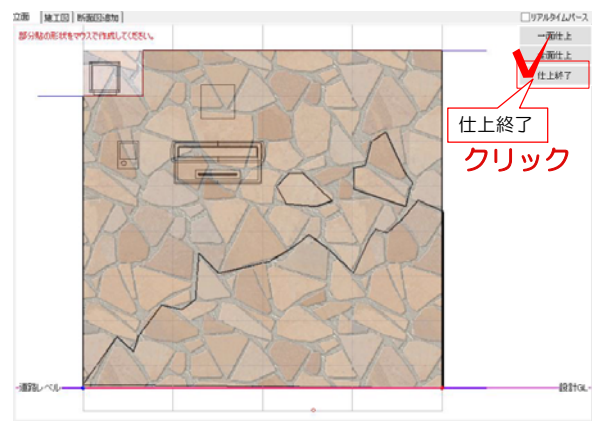


1-6 カーソルはセクションポイントを選択します。



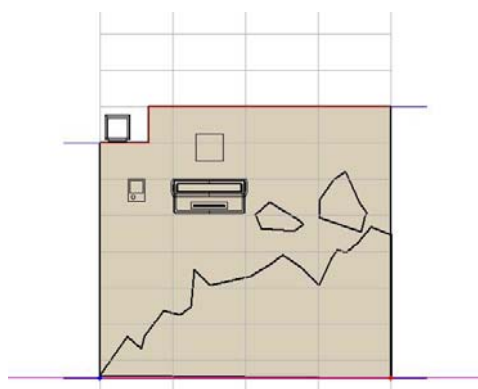
1-7 部分貼りの形をクリックで描いていきます。

1-8 最後は線の描き始めにカーソルを近づけ、カーソルが  になったところでクリックして終了します。



1-9 他にも同じ仕様で部分貼りがある場合は続けて描きます。

1-10 仕上終了をクリックします。



1-11 部分貼の設定ができました。

2 小口に部分貼りをする

2-1 画面左の表示設定をクリックし、「小口表示」にチェックを入れます。立面図に小口が表示されます。


2-2 正面と位置を合わせるため補助線を配置します。

補助線をクリックし直線水平の補助線を正面の部分貼りの位置に合わせてドラッグで配置します。

2-3 仕上げをクリックして仕様を選択します。

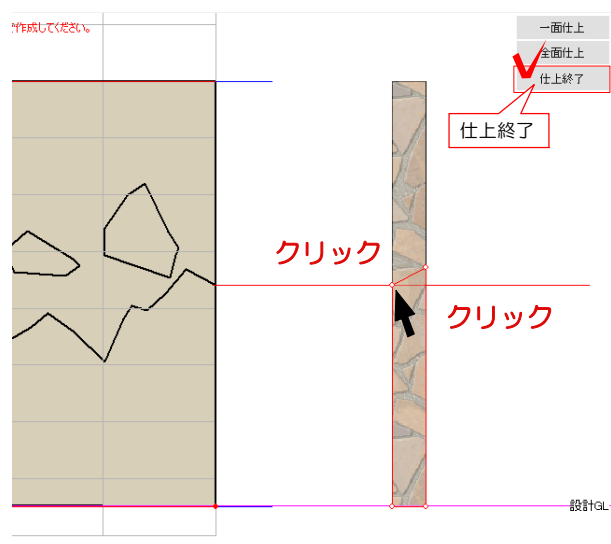
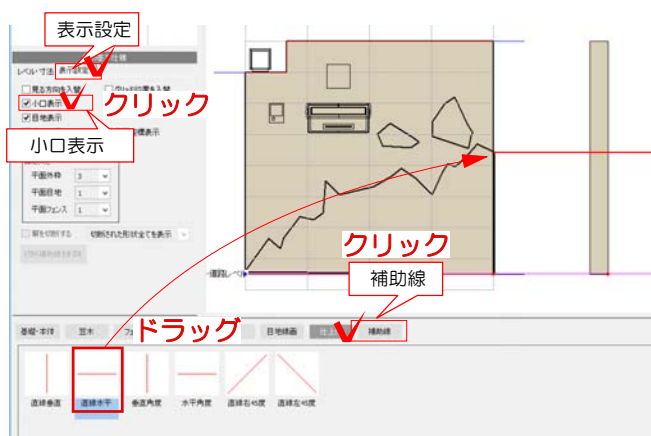
画面左下の塀材の▷をクリックします。ジュラストーン等から仕様を選び、小口へドラッグします。

2-4 部分貼りの形をクリックで描いていきます。

2-5 最後は線の描き始めにカーソルを近づけ、カーソルが  になったところでクリックして終了します。

2-6 仕上終了をクリックします。

2-7 小口の部分貼りが出来ました。



3 部分貼を編集・削除する

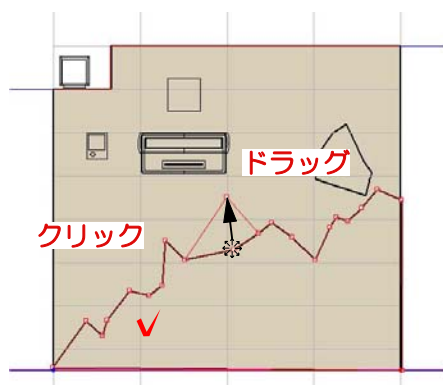
3-1 部分貼りをクリックで選択します。



3-2 画面右の仕上げでテクスチャの大きさや厚みの設定が行えます。

※塀の両面に貼る場合は「両面に付加」にチェックを入れます。

3-3 部分貼りの形状を変更したい場合は、部分貼りをクリックして頂点をドラックで移動します。

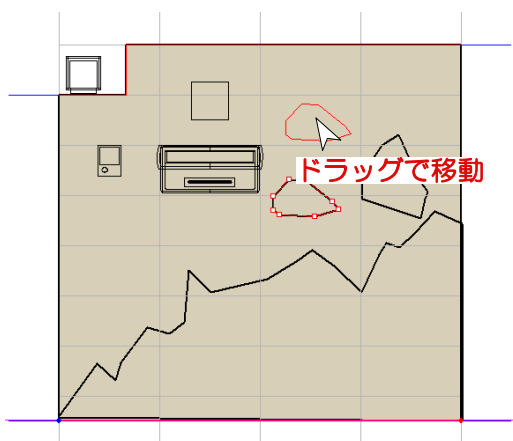


3-4 頂点を増やす場合は、辺にカーソルを近づけ青く表示されたらクリックします。

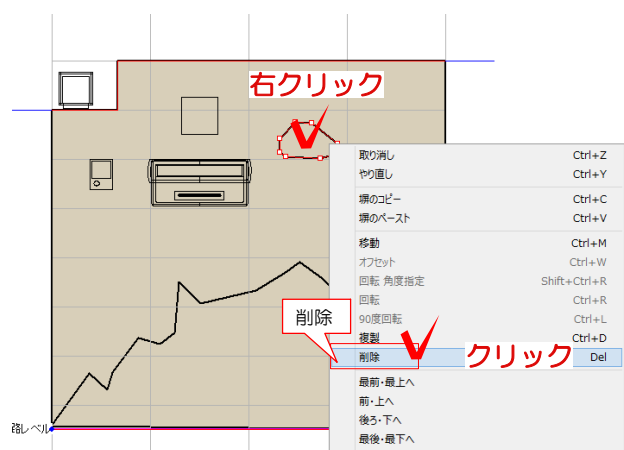


3-5 不要な頂点は右クリックで削除出来ます。

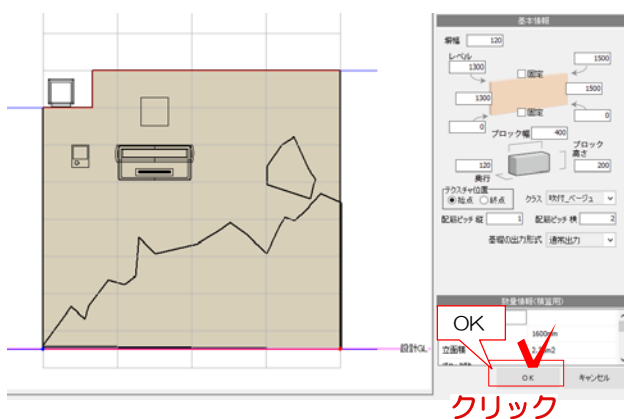




3-6 部分貼りはドラッグで位置を移動することが出来ます。



3-7 部分貼りを削除する場合は、部分貼りを右クリックし、削除をクリックします。



3-8 作業が終わったら画面右下のOKをクリックして塀デザイナーを終了します。

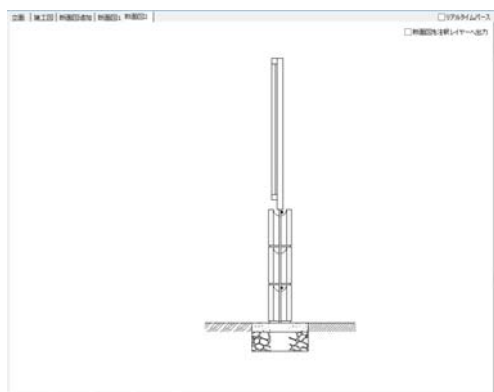
3-9 eE-Painterで確認しましょう。



塀の断面図を作成する方法

※eE-CAD11の機能です。

塀の断面図の作成・編集の方法です。

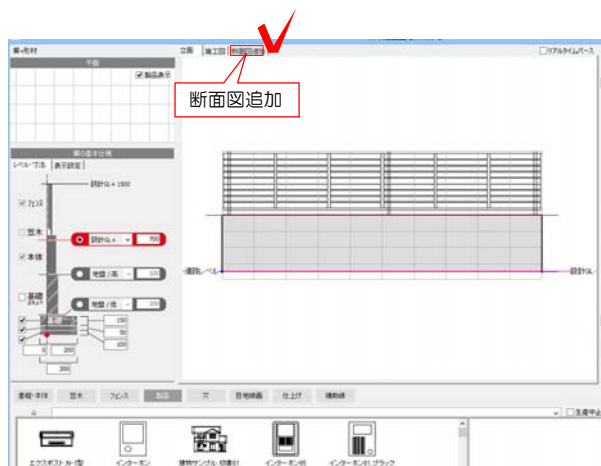


1 塀の断面図の作成

塀デザイナーで作成した塀の断面図を作成します。

2 塀の断面図の編集

図面上に配置した断面図の編集や縮尺の変更の方法です。



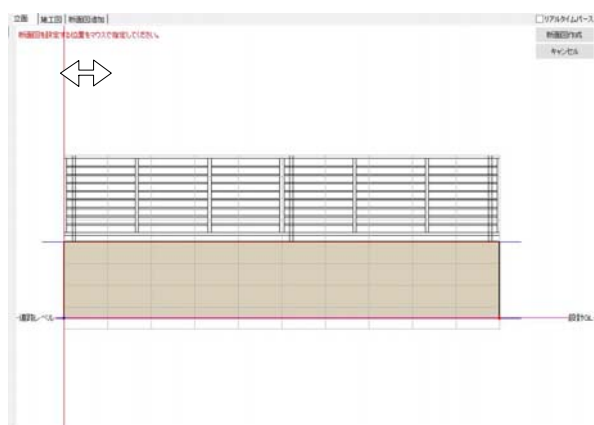
1 塀の断面図の作成

1-1 断面図を作成したい塀をWクリックで起動します。

1-2 塀の高さや、フェンス等を設定します。

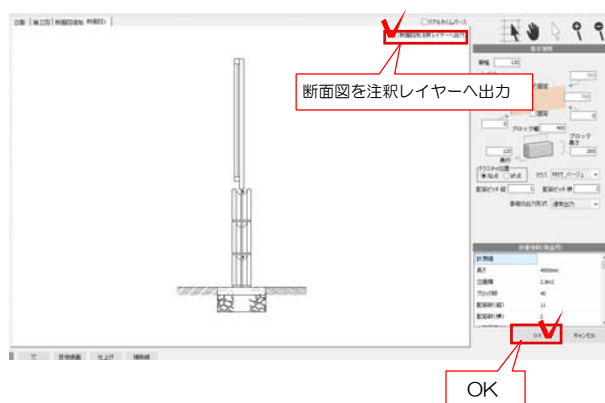
1-3 画面上の「断面図追加」をクリックします。

1-4 塀の左端に赤い線が表示されます。赤い線にカーソルを近づけると<=>になります。断面図を作成したい位置まで移動します。



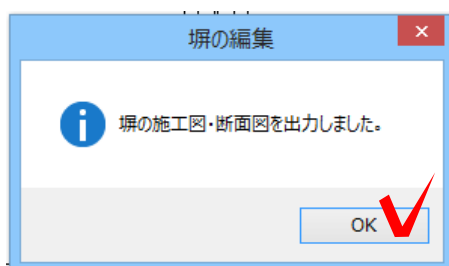


1-5 「断面図作成」をクリックします。

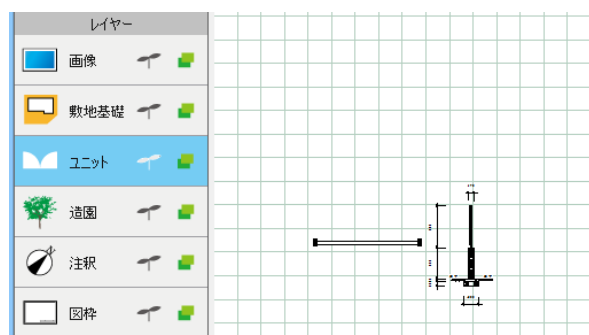


1-6 断面図が作成されます。
画面右上の「断面図を注釈レイヤーへ出力」にチェックを入れます。
「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。

※さらに断面図を追加したい場合は「断面図追加」をクリックして作成することができます。




1-7 「塀の施工図・断面図を出力しました。」とメッセージが出ます。「OK」をクリックします。



1-8 図面上に断面図が配置されます。



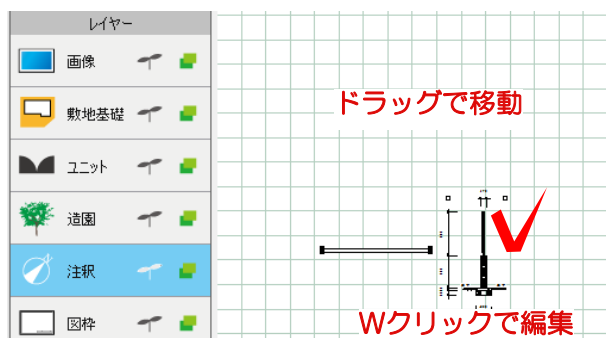
※注釈が常に表示の設定になります。
注釈を非表示にしたい場合はレイヤの  をクリックして非表示にしましょう。

2 塀の断面図の編集



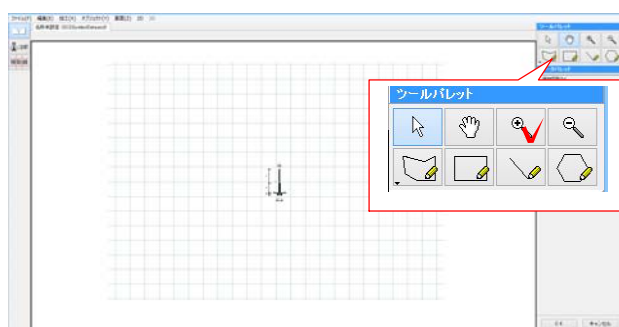
レイヤは「注釈」

2-1 レイヤは注釈にします。




2-2 施工図の位置はドラッグで移動することが出来ます。

2-3 編集する時はWクリックでeE-Formerを起動します。

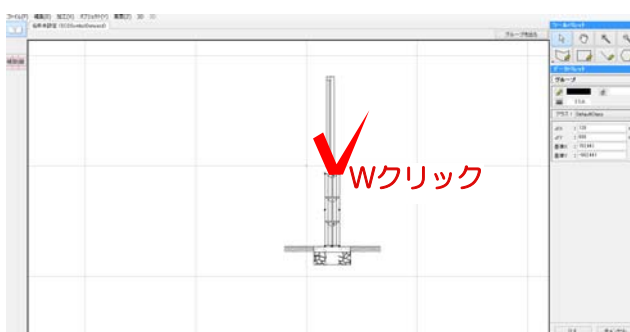


2-4 eE-Formerが起動します。
ツールパレットの拡大ツールで見やすい大きさに拡大しましょう。

作業が終わったらカーソルは  に戻します。

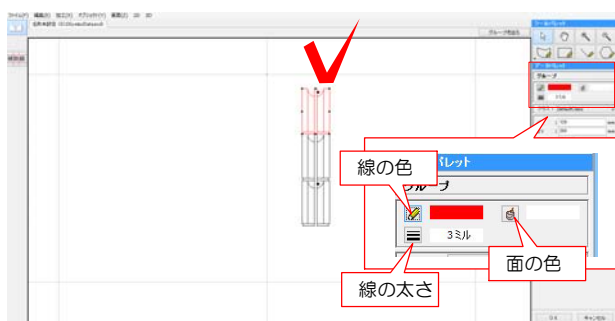


2-5 編集したい線を図形・線を選択します。
グループ化されているので図形をWクリックしてグループの中に入ります。



2-6 フェンス、ブロック、地盤。地面に分かれました。さらに細かく選択したい場合はWクリックでグループの中に入ります。

またはオブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。

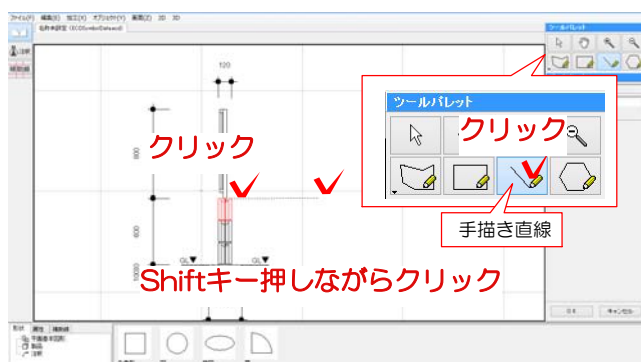


2-7 図形・または線をクリックで選択し、データパレットで線の色や太さを変更することが出来ます。

BackspaceキーまたはDeleteキーで削除が出来ます。



2-8 作業が終わったら画面右上の「グループを出す」をクリックして元の画面に戻りましょう。

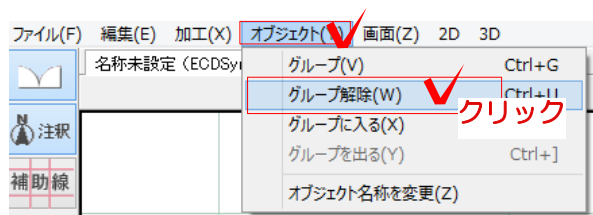


2-9 線を描き加える時は、ツールパレットで手書き直線などツールを選択します。

2-10 線を描きたい箇所でクリックします。shiftキーを押しながら線を伸ばし、クリックで終了すると直線を描くことが出来ます。



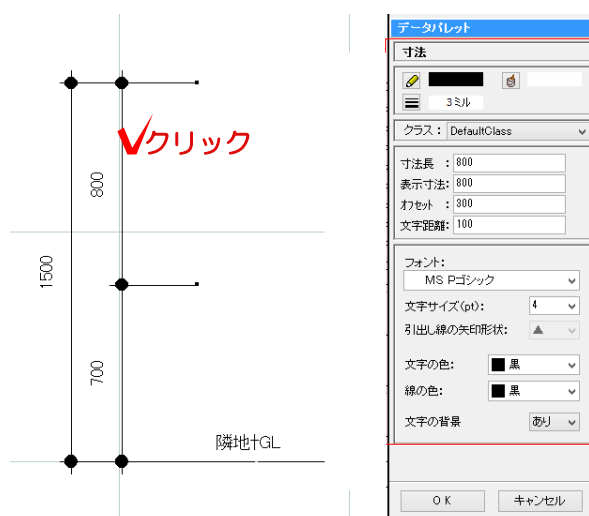
2-11 寸法線、数字を変更の場合は画面左の注釈をクリックします。



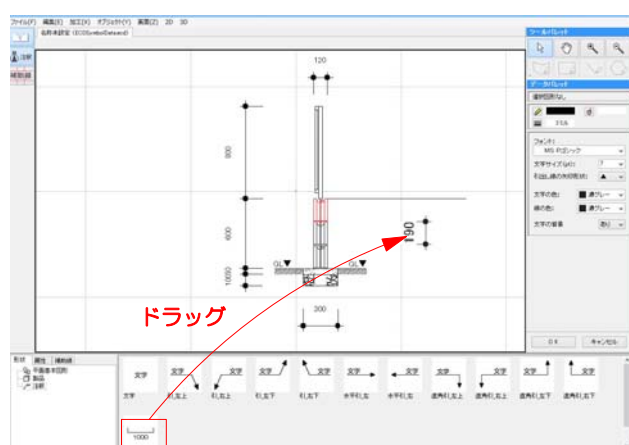
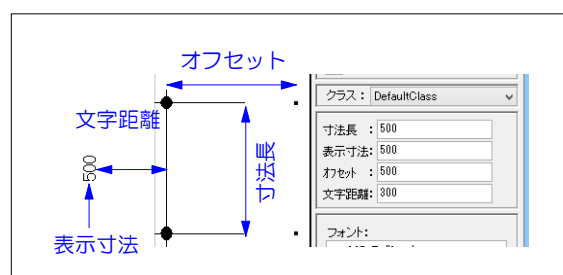
2-12 寸法線、数字をクリックで選択します。寸法線はグループ化されている為、オブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。



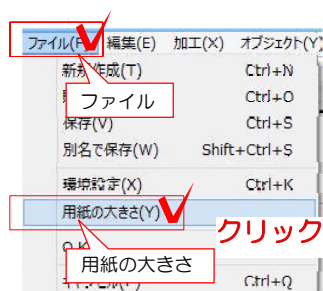
2-13 何もないところをクリックして選択を解除します。編集したい寸法線をクリックで選択します。



2-14 寸法線をクリックで選択するとデータパレットに数値が表示されます。数値やフォントを変更することが出来ます。



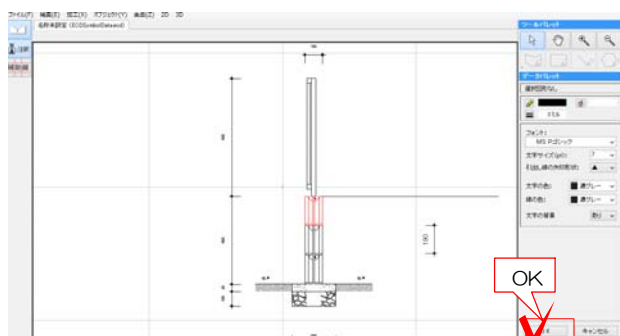
2-15 注釈や寸法線などを追加したい時は下のスタンプから選び、ドラッグで配置・移動します。



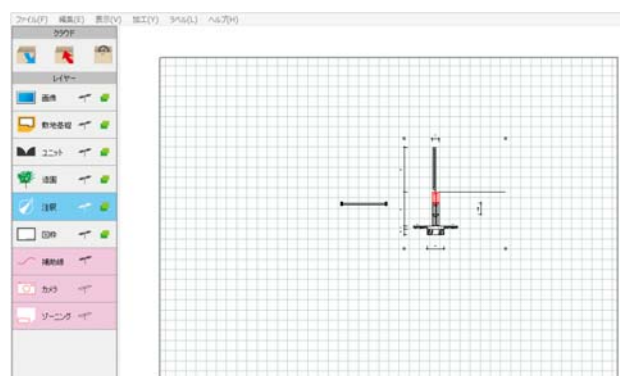
2-16 断面図を大きく（小さく）したい場合は縮尺を変更します。ファイルメニューの用紙の大きさをクリックします。



2-17 縮尺を変更します。
OKをクリックします。



2-18 編集が終わったら「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



2-19 注釈レイヤに編集した断面図が配置されます。